

## 練習用 平成22年度日本植物病理学会大会 演題登録

このページで登録した演題の登録番号は 91XXX となり、正式登録にはなりませんのでご注意ください。

※本システムは【Internet Explorer】【Netscape】【Safari】【FireFox】で動作確認を行っております。  
それ以外のブラウザはご利用にならないようお願いいたします。

注：Safariにおきましては、ver.2.0.3(417.9.2)以降のバージョンでご利用可能です。  
上記に満たないバージョンは使用できません。

発表者は、必ず事前に大会への参加申し込みを行ってください。なお、講演発表ができるのは日本植物病理学会会員（平成22年度会費納入者）で一人1題のみとします。発表を申し込む場合には学会会員番号が必要ですので、平成22年度の会費を納入の上でお申し込みください。

発表者の学会会員番号(必須)：

会員番号は学会報送付時の封筒の宛名シールに記載されています。発表年度の学会費未納の方は、至急会費をお支払い下さい。

(例) 123456、申請中・問い合わせ中のときは999999

発表者の参加登録受付番号(必須)：

オンライン登録による参加申し込みの際に発行される受付番号を記入してください。

グループで申し込まれた方は、申し込み代表者に参加登録番号をお確かめください。

(例) 123456、ファックスや郵送等でお申し込み中の場合は9999

発表形式(必須)：

学生優秀発表賞の選考について(必須)：

発表者がすでに学生優秀発表賞を受賞されたことのある学生会員の方である場合は同賞の選考の対象になりません。以下のいずれかを選んでチェックしてください。

発表者が選考対象となる学生会員  発表者が一般会員または選考対象とならない学生会員

言語選択(必須)：

筆頭著者の氏名(選択言語表記) (必須)：

日本語を選択した場合は日本語表記で、英語を選択した場合は英語表記で記入してください。

姓(例) 吉田 または Watson

名(例) 茂 または James D.

筆頭著者の氏名(ふりがな) (日本語を選択した場合必須)：

姓(例) よしだ

名(例) しげる

筆頭著者の氏名(英語表記) (必須)：

日本語、英語いずれを選択した場合も英語表記で記入してください。

姓(例) Yoshida または Watson

名(例) Shigeru または James D.

筆頭著者の所属機関1の略称(選択言語表記) (必須)：

(例) 東大院農 または Grad. Sch. Agric. Life Sci., Univ. Tokyo

筆頭著者の所属機関番号(必須)：

1  2  3  4  5

筆頭著者が発表者の場合、こちらをチェックして下さい。

発表者(必須)：

著者の所属機関が複数にまたがるときは以下に記入し、著者記入欄にあるチェックボックスをチェックしてください。所属機関 2から 5の略称の記入方法は所属機関1と同じです。共著者の氏名(選択言語表記、英語表記)の記入の仕方も、筆頭著者の記入欄と同じです。

所属機関2の略称(選択言語表記)：

現：近中四農研

所属機関3の略称（選択言語表記）：

生物研

所属機関4の略称（選択言語表記）：

所属機関5の略称（選択言語表記）：

#### 共著者2

	姓	名
選択言語	西澤	洋子
ふりがな	にしざわ	ようこ
英語表記	Nishizawa	Yoko

所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者2が発表者の場合、こちらをチェックして下さい。

発表者：

#### 共著者3

	姓	名
選択言語	加来	久敏
ふりがな	かく	ひさとし
英語表記	Kaku	Hisatoshi

所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者3が発表者の場合、こちらをチェックして下さい。

発表者：

#### 共著者4

	姓	名
選択言語	日比	忠明
ふりがな	ひび	ただあき
英語表記	Hibi	Tadaaki

所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者4が発表者の場合、こちらをチェックして下さい。

発表者：

#### 共著者5

	姓	名
選択言語		
ふりがな		
英語表記		

所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者5が発表者の場合、こちらをチェックして下さい。

発表者：

共著者・所属機関を増やす

発表希望分野(必須)：

菌類病

発表内容(必須) :

感染生理

その他の発表内容を示すキーワード

発表内容でその他を選択した場合は、内容を示すキーワードを記入してください。

発表者の所属先の電話番号(必須) :

(例) 03-1234-5678

029-838-0000

上記の内線番号 :

発表者の所属先のFAX番号 :

(例) 03-1234-5679

029-838-0000

発表者の電子メールアドレス(必須) :

正確に記入してください。なお、登録完了後、登録完了のメールがこの記入アドレス宛に配信されます。配信メールの内容を必ずご確認ください。配信されない場合には、ご記入の電子メールアドレスが間違っている可能性がありますので【確認・修正画面】にて登録されている電子メールアドレスのご確認・修正をお願いいたします。

xxxx@affrc.go.jp

演題にイタリックや上付などの修飾文字を使用する場合は、下記の要旨本文の記入要領を参照し、記号(htmlタグ)を使ってください。

また、英語演題名には日本語フォントの全角文字を入力しないよう注意してください。

注) 特殊文字の入力方法につきましては、特殊文字リンクから参照して下さい。

[特殊文字リンク More specific characters \(ISO-8859-1\), Click here](#)

演題名(選択言語表記)(必須) :

(例) 1, 3; 1, 4- $\beta$ -グルカナーゼ遺伝子 (<I>Gns1</I>) を過剰発現する組換えイネにおけるイネいもち病菌とイネ白葉枯病菌に対する過敏反応

制限文字数は全角換算で100文字になります。この字数を超えると登録できません。また、全角の英数字は使用しないでください。

1, 3; 1, 4- $\beta$ -グルカナーゼ遺伝子 (<I>Gns1</I>) を過剰発現する組換えイネにおけるイネいもち病菌とイネ白葉枯病菌に対する過敏反応

演題名(英語表記)(必須) :

(例) Hyperresponse to Both Blast and Bacterial Leaf Blight in Transgenic Rice Plants Overexpressing the 1, 3; 1, 4- $\beta$ -Glucanase Gene (<I>Gns1</I>)

Hyperresponse to Both Blast and Bacterial Leaf Blight in Transgenic Rice Plants Overexpressing the 1, 3; 1, 4- $\beta$ -Glucanase Gene (<I>Gns1</I>)

要旨本文(必須)

要旨本文は、まず最初にご自身のワードプロセッサで作成し、コピー機能を使って下段の要旨本文用枠内にペーストすることをお奨めします。

本文にイタリックや上付などの修飾文字を使用する場合は、下記の要旨本文の記入要領を参照し、記号(htmlタグ)を使ってください。

また、冒頭の言語選択で英語を選択した場合は、日本語フォントの全角文字を入力しないよう注意してください。

注) 特殊文字の入力方法につきましては、特殊文字リンクから参照して下さい。

[特殊文字リンク More specific characters \(ISO-8859-1\), Click here](#)

上付き文字が必要なときは、文字の前後を<SUP>と</SUP>で囲ってください。

(例) Na<SUP>+</SUP> は Na<sup>+</sup> となります。

下付き文字が必要なときは、文字の前後を<SUB>と</SUB>で囲ってください。

(例) H<SUB>2</SUB>O は H<sub>2</sub>O となります。

イタリック文字が必要なときは、文字の前後を<I>と</I>で囲ってください。

(例) <I>c-fos</I> は c-fos となります。

太文字が必要なときは、文字の前後を<B>と</B>で囲ってください。

(例) <B>太文字</B> は **太文字** となります。

アンダーラインが必要なときは、文字の前後を<U>と</U>で囲ってください。

(例) <U>アンダーライン</U> は アンダーライン となります。

要旨本文内で改行を入れたいところには、改行したい文の頭に<BR>を記入してください。

上記の記号との混乱を防ぐため、要旨本文内で<および>の記号を使うときは(たとえばp<0.05、CO>2.2が挙げられます)、必ず全角の<および>

び>を使ってください。

(例)  $xp < 0.05$     $Op < 0.05$

下の枠が**要旨本文(タイトル、所属機関略称、著者名は除く)**を記入する欄です。先頭行は1ますあけずに左詰めで記入してください。ブラウザによって、下の要旨本文の枠が、極端に横長になってしまいます。本文の作成に不便な場合は本文の途中で適宜改行指定を入れても結構です。改行指定は、登録の際自動的に削除されますので、そのまま残しておいてください。

制限文字数は全角450文字になります。この字数を超えると登録できません。

*Gns1*遺伝子を過剰発現させた組換えイネでは、イネいもち病菌の接種により小褐点が形成され、非組換えイネに比べて進展型病斑数が減少する(中国ら, 2000)。本組換えイネ系統は通常の生育条件下においても*Gns1*遺伝子の発現量に相関して小褐点(擬似病斑)を形成する。そこで、イネいもち病菌とは感染機作の異なるイネ白葉枯病菌に対する反応を剪葉接種約10日後に観察したところ、感染部の褐変を伴う病斑長の著しい減少が認められた。次に、5~6葉期のイネの葉身における*PR-1*および*PBZ1*遺伝子の発現を解析したところ、組換えイネでは擬似病斑出現前から非組換えイネと比較して両遺伝子の発現量が若干多く、病斑出現後には著しく増加した。また、いもち病菌接種後の組換えイネでは、両遺伝子の発現が非組換えイネの場合よりも早期に誘導された。以上から、*Gns1*過剰発現組換えイネが示す病害抵抗性の増強には、イネの過敏反応およびそれに伴う*PR-1*などの防御応答遺伝子の発現が関与している可能性が示唆された。

**対象植物(必須) :**

カタカナまたは学名で記載してください。

イネ

**対象微生物(必須) :**

和名または学名で記載してください。

イネいもち病菌

登録した自分の要旨を参照・更新するためのパスワード(半角英数文字6~8文字) **(必須)** :

.....

登録作業を続けます。また、このボタンで、演題名および要旨本文の現在の文字数を確認することができます。

お問い合わせの前に [よくある質問とその回答集](#) をご覧ください。

この練習用平成22年度日本植物病理学会大会 演題登録に関するお問い合わせは、[大会事務局 psjh22tk@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:psjh22tk@kais.kyoto-u.ac.jp) へお願い致します。

また、この要旨提出用ホームページは、[UMINセンター](#)の全面的な支援のもと、運営されています。

